

令和6年能登半島地震における 全国知事会の広域応援について

全国知事会事務局

全国都道府県の災害時応援協定等の概要

全国都道府県の災害時応援協定等

- ① 全国都道府県における災害時等の広域応援に関する協定
—平成8年7月締結、令和6年1月最終改定
- ② 同 実施細目
—平成18年7月適用、令和3年11月最終改定
- ③ 全国知事会災害対策本部等要綱
—令和3年11月適用、令和6年1月最終改定

全国知事会における災害時のミッション

○ 協定第1条（抄）

各ブロック知事会で締結する災害時の相互応援協定等では被災者の救援等の対策が十分に実施できない場合に、全国知事会の調整の下に行われる広域応援を、迅速かつ円滑に遂行する

応援要請の原則

被災市町村⇒被災県

⇒被災県が属するブロックの幹事県（ブロック内調整）

⇒全国知事会（全国調整）

【災害応援に関する「ブロック」】

ブロック 知事会名	北海道・ 東北地方 知事会	関東地方 知事会	中部圏 知事会	近畿ブ ロック 知事会	中国地方 知事会	四国 知事会	九州地方 知事会
幹事県	岩手県	東京都	富山県	兵庫県	島根県	徳島県	宮崎県
副幹事 県	宮城県	栃木県	なし	なし	鳥取県	なし	沖縄県

協定・要綱に基づく体制

○災害時には、要綱に記載の体制で情報収集・広域応援の調整を実施

① 緊急広域災害対策本部（本部長：会長）

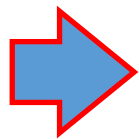
複数の都道府県において被害が見込まれる規模の災害時等に設置
[例] 令和6年能登半島地震、令和元年東日本台風 など

② 災害対策都道府県連絡本部（本部長：事務総長）

震度6弱以上の地震、大雨特別警報等の場合に設置
[例] （令和6年）豊後水道の地震、令和5年台風第7号 など

③ 情報連絡室（事務局内における対応）

上記に至らない地震や気象条件等により設置



**全国知事会においても、災害規模に応じた体制を確立し、
広域的な応援調整を実施**

令和6年能登半島地震における対応

能登半島地震における対応（全国知事会）

- 緊急広域災害対策本部（本部長：会長）を、約2年ぶりに設置
- 全国知事会としての方針を、本部長メッセージとして各都道府県に伝えることとした。
- 全都道府県の協力をいただき、人的応援を実施するとともに、内閣府防災と連携し、窓口一元化を図った物的応援を実施した。

1月4日 対策本部 本部長メッセージ(抜粋)

- 内閣府防災担当大臣と協議した結果、当面、職員の派遣については総務省公務員部、物資については内閣府防災担当が取りまとめを行い、国として自治体の応援が必要と判断した場合に、国から全国知事会等に要請し、これを受けて自治体に対応いただくこととなりました。

実施している/実施した応援等（全国知事会関連）

- 初動期 / 現地における情報収集・調整
 - ・ 全国知事会情報連絡員（リエゾン）の派遣
- 応急対策期 / 短期応援
 - ・ 全国都道府県協定に基づく人的応援（県⇒県の応援）
 - ・ 全国都道府県協定に基づく物的応援
- 復旧・復興期 / 中長期応援（派遣）
 - ・ 全国都道府県協定に基づく人的応援（県⇒県の派遣）

※このほか、各都道府県より、総務省制度に基づく人的応援（総括支援・対口支援）等にも御尽力いただいている。

全国知事会情報連絡員（リエゾン）の派遣

場所：石川県庁

対応：現地における情報収集、国やブロック幹事県リエゾンとの連携 等



**ブロック幹事県・内閣府防災との協議
〈物的応援の連携について〉**



**ブロック幹事県・石川県との協議
〈対応状況について〉**

全国都道府県協定に基づく人的応援（短期応援）

- ・ 第1弾～第4弾に分けて、石川県庁へ職員を派遣
- ・ 職種：行政職・技術職
- ・ 合計：129名

[内訳]

区分	人数	派遣期間
第1弾	57名	1/26～3/31
第2弾	57名	2/1～3/31
第3弾	5名	2/19～3/31
第4弾	10名	3月上中旬(順次) ～3/29

全国都道府県協定に基づく人的応援（**中長期派遣**）

- ・ 第1弾・第2弾に分けて、石川県庁・富山県庁へ職員を派遣中
- ・ 職種：行政職・技術職
- ・ 合計：158名 ※中部ブロック内調整人数含む。

[内訳]

区分	人数	派遣期間
第1弾	132名	4/1～ 順次開始中
第2弾	26名 (調整中・2名程度追加見込み有)	6/1～ 順次開始中

※中長期派遣の期間は、1年間～数年間（派遣枠により異なる）
であり、まさに中長期的な応援に御尽力いただいている。

全国都道府県協定に基づく物的応援

- ・ 第1弾～第9弾に分けて、石川県（県内各市町含む）へ応援
- ・ 合計：18品目・約77万点（水2リットル=1点として概算）

※中部・近畿ブロック内調整分含む。

[内訳]

主要な品目	数量
食料	約41万食
水	約27万リットル
ブルーシート	約5万枚
携帯トイレ	約4万個
段ボールベッド	約2,500個